

Happy-Hamakan-News (HHN)

浜医看学発 第3巻 第2号

2016年10月号

浜田医療センター附属看護学校

[http://www](http://www.hamakan-nh.jp/)

学校祭お知らせ・・・1P

指導者さんにみてもらおう・・・5～6P

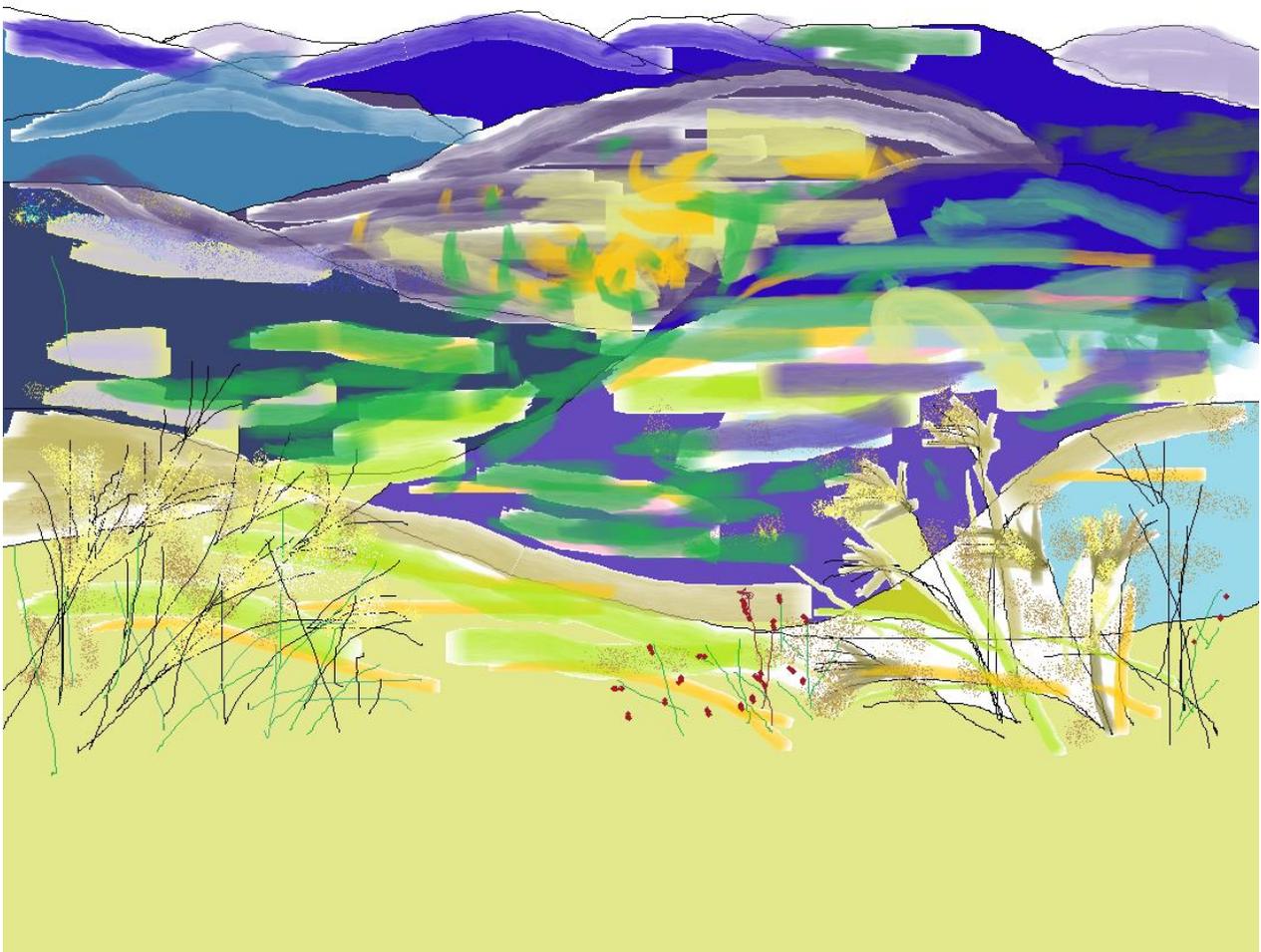
島根県学術集会・・・9P

七夕の会・・・2P

基礎Ⅱまとめの会・接遇研修・・・7～8P

オープンスクール夏・・・10P

宿泊研修・・・3～4P



独立行政法人国立病院機構
浜田医療センター附属看護学校
〒697-8512 島根県浜田市浅井町 777-12
TEL0855-28-7788
mail : kanri-t@hamakan.nh.jp
<http://www.hamakan-nh.jp/>

発行責任者 石黒眞吾
編集責任者 高下智香子
編集 田儀千代美、隈部直子、小田川良子、畑中美保、
崎本美子、山岡富美香、三家本八千代、
岩成美樹、松野由香、金山和正



浜田医療センター附属看護学校



学校祭 2016

～HAMAKAN から幸せを～

は ま か ん

10月15日(1日目)



環境省環境カウンセラー 藤野完二先生 による

講演会「自然との共存」



10月16日(2日目)



浜田駅北医療フェスタ と同時開催!

1F ちびっこランド 折り紙、落書き、ボールプール

2F ハンドマッサージ オレンジ、クレープフルーツの香り

3F フリーマーケット 売り切れ御免! 日用雑貨などが安い!

4F 模擬店 おいしいよ! ぜひ来てね★

5F イベント広場 イベント盛りだくさん!



熊本復興応援フェア!

模擬店では熊本の郷土料理である
だご汁、高菜飯、いきなり団子
くまモンのイラスト入りジュース

など販売します☆



10:00~10:10	手話部
10:20~10:50	県立大学ダンスサークル
11:00~11:30	真田先生の少年少女合唱団
11:40~12:10	バンド
13:00~14:00	長浜社中による神楽上演
14:15~14:35	県立大学燈籠

日時:平成28年10月15日(土)8時30分~受付開始

平成28年10月16日(日)9時~15時

場所:浜田医療センター附属看護学校

TEL:0855-28-7788 主催:学生自治会

右のQRコードからアクセスしてね★



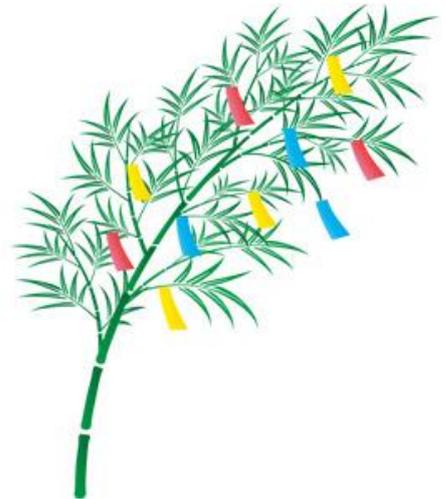
～七夕の会～



2年生 小川 紗希

看護学校、浜田医療センター、おおぞら保育園と共同で7月7日（木）に七夕の会を病院正面玄関で行いました。

7月1日より、玄関前に本物の笹の葉を飾って頂き、多くの方々に短冊に願いを書いて頂きました。7月7日の七夕会の当日には、看護学生の紙芝居と保育園児の歌（七夕さま）、ピアノカ（キラキラ星）ダンス（エビカニミクス）を患者様の前で披露しました。お見舞い後の家族の方々も園児の元気な声やかわいらしいダンス姿に足を止め観て下さり、「かわいいね～」と笑顔で拍手をして頂きました。一時ではありますが、患者様に楽しい時間を提供できたのではないかと思います。7月7日は、天候も良く短冊に書いた願いが夜空の星に届き叶うと感じました。短冊は、最後に出雲大社石見分祠に納めさせて頂きました。



～宿泊研修を終えて～



1年生 竹下 舞

私たちは、7月6日から3日間、弥栄町にある「ふるさと体験村」で宿泊研修に行ってきました。宿泊研修の目的が、クラスの親睦を深めるというもので、あまり喋ったことのない人と喋ってみようと意気込んで宿泊研修を迎えました。3日間の中で、BBQ や流しそうめん、肝試しなど、みんなで協力して、みんなで楽しめる企画ばかりだったので、普段喋ったことのない人とも自然に話せ、笑顔になれました。企画をたくさん詰め込みすぎて、予定より遅れてしまうことがありましたが、そのつどリーダーを中心にクラス全員でまとまって話し合いました。自分勝手な行動をするのではなく、クラス全体で話し合っただけで行えたことは、とても良かったと思います。また、短い間でしたが、楽しい時間を過ごせました。



1 年生 高橋 明里

入学して 4 ヶ月。クラスみんなのことがだいたい分かり、最初に比べていろんな人と話すようになってきました。そんな中、初めてのクラス行事である宿泊研修がありました。まず、最初にくじを引いてグループを作ることから始めました。あまり喋ったことがない人となったらどうしようと、不安もありましたが、グループでの話し合いを何回もしているうちに、「この子らってこういう感じの子だったんだ！」など、新しい発見もできました。

私たちのグループは、焼きそば作りの担当でした。材料の数をみんなで考えているときに、生徒 37 人 + 先生 2 人分の量で、野菜もお肉も想像がつかないくらいの量になりました。1 人暮らしをするようになってから、毎日 1 人分しか作らない私にとって、この量はとても驚いてワクワクしていました。

しかし、宿泊研修の前日から私は発熱し、当日は参加できませんでした。とても楽しみにしていて、みんなともっと仲良くなろうと思っていたのでショックでした。でも休んでいる間、クラスの人達が研修中の写真や動画をたくさん送ってくれました。私の気持ちを理解してくれた皆の行動を嬉しく思いました。これからの 3 年間様々な機会があると思いますので、次の行事からはみんなといっぱい楽しみたいです。



1 年生 田邨 みなみ

この 2 泊 3 日の間は本当に楽しかったです。行く前は、もう入学して 3 ヶ月も経っているしクラスの人とも仲いいのと思っていたけど、実際に行ってみると、普段は 1 人でやることも全てみんなで協力して行うためとても楽しかったし、本当に親睦も深まったと思います。食事を作るにしても、本当は効率よくやるためにきちんと仕事内容が振り分けられていましたが、思い返してみると与えられた内容をそれぞれがこなすというより、クラス全員が参加して自分の手が空いたらすぐ他にやることを探して協力するといった感じで、みんなが臨機応変に動いていました。私が心に残っているのはみんなで花火をしたことです。夜にみんなで集まる機会がこういう時じゃないと無いため、同じ花火をみて騒ぐのはとても楽しかったです。今回の研修で、64 期生の団結力の強さも実感でき、さらに深まったので、これからの勉強、実習をみんなとなら乗り越えていけると思いました。



※指導者さんに見てもらおう※

1年生 静間 翔輝

6月16日(木)の3・4限目に行われた「指導者さんにみてもらおう」では、64期生が車椅子の移乗・移送について浜田医療センターの看護師の方々から直々に指導をしてもらいました。この「指導者さんにみてもらおう」は1年生が学び始めた看護技術を臨床の指導者さんに見てもらい、原理・原則を学んだ内容から臨床での応用を学んでいくものです。

当日は、仮名(佐藤ウミさん 76歳 女性)、肺炎を患っていて、胸部レントゲン検査を取りに行くという設定で行いました。

自分たちだけで教科書を見ながら練習することも大切だと思いますが、指導者の方々に側で見てもらっていたので、分からないところや疑問に思ったところを分かりやすく教えてもらうことができ、とても勉強になりました。





今回、実際に臨床の現場で働いている看護師の方々からも指導してもらえることはとても貴重だと感じました。教科書の文章やイラストでは分かりにくいことも、実際に身体を動かしながら指導して頂いたので、重心の動かし方やベッドの高さの調節の目安など、患者さんを意識した援助技術を学ぶことができました。また、臨床ではどのように応用するのかなども指導してもらいました。

車椅子の移乗・移送の技術試験が6月29日にあり、今回学ばせていただいた技術をしっかり発揮することができ、無事合格することができました。お忙しい中、僕たちにご指導して下さった指導者の方々、本当にありがとうございました。



2年生特集！ 基礎看護学実習Ⅱ（準備―実施―ふり返り）

2年生担任・副担任：小田川良子・山岡富美香

2年生は、6～7月にかけて浜田医療センターの実習に行きました。久しぶりの実習だったため、とても緊張していましたが、クラスで協力して取り組むことができました。実習に向けての準備、実習、実習のふりかえり、を通して2年生はたくさんの学びを得ることができましたので、今回はその様子を紹介します！

実習前準備 プレナース基本研修：平成28年6月10日（金）
研修のねらい

- ①病院や社会のルールを学ぶ ②病院実習の心構えを学ぶ
 - ③プレナースとしてふさわしい応対マナーを体験学習で身に付ける
- 講師：エデュネット協会 江藤 かをる先生（今年で4年目になります）



江藤先生には、学生が実習に出る前に、看護師として失礼のない気持ちのよいコミュニケーションができるような看護師としての心構え、態度を教えてくださいました。研修中は、グループ対抗で考えたり、発表したり、よりよい結果ができるようにお互い協力して取り組むという大切さにも気がつくことができました。体を動かして、やる気高めるから楽しく学ぶことができました。いつも元気な2年生ですが、この研修はより元気に積極的に挙手し、大きな声で発表することができていました。

～プレナース基本研修を終えて～

2年生 佐々木 陽子

まず初めに接遇研修を開催して下さった講師の先生には、たくさんのことを教えていただき、たいへんお世話になりました。接遇研修では、アクティブリーダーというみんなの意欲を向上させるタイプの人と、「マベリック」というみんなのやる気を低下させるタイプの話が印象に残りました。今後、看護師になるとみんなを引っ張る役割を持つと思うので、今から身に付けたいと思いました。それにはグループで活動する際に、協調性が必要だと学びました。また自分の意見を分かりやすく相手に伝え、情報を共有することの大切さを感じました。それらを踏まえ今後は仲間と助け合って、どんな環境でも仲間を引っ張り、支えられるような看護師になりたいと思いました。

初めての長期（12日間）実習：平成28年6月15日（水）～7月1日（金）

基礎看護学実習Ⅱの目的は、「対象の意向や希望に寄り添った看護ケアを実践できる基礎的能力を養う」です。この実習では、初めて受け持ち患者さんに看護過程の展開をしていきます。過程の展開とは、受け持ち患者さんの情報を収集し、その情報について分析し、現在患者さんに起こっている看護問題を考え、その問題が解決できる看護計画を立案し、計画に沿って実施し、実施した内容を患者さんの反応から振り返り、次の援助に繋げていく、という一連の流れを実践することです。初めての12日間の実習で精神的・体力的に乗り越えられるか、今まで講義で学んできたことが実習で実践していけるか、等の不安がありました。実習グループメンバーで協力し、2年生みんなが励ましあいながら全員で達成することができました。

～基礎看護学実習Ⅱを経験して～

2年生 青山 瑞穂

私は、今回の基礎看護学実習Ⅱで実際の患者さんの情報を元に分析して看護問題や患者目標を設定し、その目標を達成するためにどのような看護を行っていくのかという看護過程の展開をすることの難しさを学びました。講義では、既に提示された患者情報を元に看護展開をしていきました。しかし実習ではカルテや患者さんとその御家族との関わりから情報収集を行い、日々変化する患者さんの状態に合わせて、看護計画の修正や追加をする必要がありました。そのため個別性があり、患者さんの意向をふまえた、患者本位の看護計画を立てることが大切だと学びました。

実習終了後のふり振り返り まとめの会：平成28年7月14日（木）

実習が終わってから、自分たちが実習で学んだ事をクラス内で発表しあう機会があります。実習では個人の学び・グループでの学びや今後の課題を明確にすることができますが、まとめの会ではクラス全員で意見交換をしていくので、さらに学びが深まりました。

～まとめの会を終えて～

2年生 三浦 穂華

まとめの会では援助を通して学んだ看護を振り返り、クラス全体で学びを共有しました。自分たちはどのような考えで患者に援助を行ったのか、その援助は個別性を考え患者に最も適したものだったのかなどを話し合うことで、一人ひとりが受け持ち患者さんの個別性のある看護について考えることができました。また他者からの意見で思考の幅も広がり今後の課題も明確になりました。

最後に先生方、指導者さんには実習前から、実習のスケジュール調整や、実習での的確な指導など大変お世話になりました。そして、まとめの会にもお忙しい中参加して下さい、本当に感謝しています。

今回学んだことを今後の実習に活かしていきたいと思います。



各グループが自分たちの学びを発表



全員が「質問するぞ!」という勢いで意見交換も活発



まとめの会総リーダー2名



意見交換会の様子

まとめの会には、病棟の指導者の方々にも多数出席していただきました。今後も、病棟と学校が協力し合い、学生が主体的に楽しく学んでいけるよう支援していきたいと思ひます。

～島根県学術集会～

3年生担任・看護研究演習講義担当：畑中美保

看護師は療養上の世話や診療の補助を行っていきます。看護師の行うケアは患者に寄り添い、患者の状態に合った看護を行って、その人らしい生活ができるように関わっていきます。看護師は専門職であり、より患者が安心して治療や生活に臨めるために、看護師は日々自己の看護を振り返り、より患者に合った看護を見出していく事が望めます。また、日々進歩していく医療や社会の変化に合わせた看護を実践するためにも、看護を科学的に意味づけていくことも重要となり、生涯自己研鑽し続ける職業です。

当校では、2年次に『看護研究』という授業科目で、看護における研究の意義や看護研究の基本知識を学びます。その後、領域別実習（全10クール）を行い、様々な患者と向き合い、看護過程を展開し、看護実践していきます。

3年次には『看護研究演習』という授業科目として、研究的態度（問題解決能力・科学的思考能力・発表能力）を持つ事、自己の行った看護を振り返り、看護に対する自らの考えを深める事を目的に学会参加やケーススタディを行います。自己の看護を理論や科学的思考を持って振り返ることにより、看護観が養われます。この年末には、ケーススタディ発表会も行います。発表会では、他者の看護に対する考えをもとに自己の看護を振り返り、更に自分の考える看護を深めていくことができます。

62期生は7月16日（土）に、第14回 島根看護学術集会に参加しました。自分たちが研究・研究発表会を行ううえで、「研究のまとめ方やプレゼンテーションの具体的方法を学ぶ」「学会の運営について学ぶ」「看護実践の実際を知ることで、今後の実習における自己の看護に活かす」の3つを目的に参加してきました。

学術集会では、多くの施設から多数の看護師が参加していました。学生達も、自分たちが興味を持った演題を選択し、学会の様子を知り、研究の必要性や看護の視点を考え深めることができました。

3年生 和久利 萌子

今回の学術集会で発表された研究は、教科書的なケアの実践から1歩踏み込んで対象者それぞれに合った看護を行っていくために、看護は看護でもその人にどんな関わりが合っているのか日々試行錯誤しながら探究し続けていることが分かりました。探究し続けていく上で、自分がどんな関わりをしたか、その関わりはどのように対象者に影響したのか、より対象者の望む生活に近づけていくために今何が必要なのか細かく記録し残し、皆で共有して実践につなげていることが分かりました。今後の臨地実習では、教科書通りの看護で自分が満足するのではなく、対象の方に満足してもらえる個別性のある看護を行えるよう、看護について実践を通して深めていきたいです。

現在、学生達はこれまで行ってきた看護の中で、印象に残った事例を振り返り、担当教員から助言を受けながら論文をまとめています。実習をくり返し、たくさんの経験を積んできた学生たちが、自分が行った援助の意味を見出し、看護師としての看護観を育てているところです。

残り半年で学生たちは卒業し、看護師として実践を行っていくこととなります。当校で身に付けた看護実践力と、看護観を更に深めていけるように看護専門職として看護を探究・研究し続ける能力を持ってもらいたいと考えています。



※夏のオープンスクール終えての感想※

2年生 福田 純生

今回平成28年度夏のオープンスクールを午前は小・中学生、午後は高校生に向けて行いました。午前は、小中学生に看護とはどういったことを行うのかを創傷処置や沐浴体験などによって実際に体験してもらいました。これにより実際に看護にふれてもらい看護を身近に感じて、少しでも興味を持ってもらう機会や良い経験になったと思います。

また、午後は高校生に向けて進路を決定する際に役立つように看護学校ではどのようなことを学ぶのかや実際に看護学生に進路についての相談などをする時間を設けました。参加者の高校生からもたくさんの質問を受けて、進路決定に向けての良い判断材料になったのではないかと思います。

一日を通してたくさんの方に参加をしてもらい、最初は緊張していた参加者も看護学生と話し、体験などをしていく中で最後の交流会では会話も弾み活気のある交流会になりました。そして浜田医療センター附属看護学校について知ってもらい、また日々自分たちが学んでいる看護についてもしっかり伝えることができたと思います。今年のオープンスクールは今回で終わりですが来年も開催予定なので、次回はさらに多くの方が参加してもらえるようにそれぞれのブースが工夫をしていきたいと思っています。



アクセス



- 山陰本線浜田駅より徒歩 3 分
- 広島駅から浜田道高速バスで約 1 時間 50 分
 - 山口方面から
新山口ー（山陽本線）ー益田ー（山陰本線）ー浜田
 - 松江方面から
松江ー（山陰本線）ー浜田 特急 約 1 時間 40 分



編集
後記

今年は、夏から秋にかけて台風が多く、被害にあわれた方には心よりお見舞申し上げます。早いものでもう10月になり、今年も残すところあと3ヵ月です。10月15日～16日の2日間にかけて学校祭を開催します。詳細は上記のポスターに記載されているので是非ご覧ください。次号では学校祭の様子を皆様にお伝えしたいと思いますので、今後ともご愛読の程よろしく願いいたします。